

## 屋久島町入島税等検討会議から依頼する検討事項

新たな入山協力金制度は、平成 28 年度に導入予定であり、周知期間の確保や町条例の手続きを勘案し、平成 27 年 8 月中旬までに次の事項について検討していただきたい。

1 屋久島山岳部保全募金を新たな入山協力金制度に移行することについて

2 既存協力金制度との一元化に向けた調整について

3 新たな入山協力金制度の詳細な検討について

(1) 具体的な使途について

(2) 金額の妥当性について

(3) 名称について (追加検討事項)

(4) 納入対象について

(5) 収納方法について

(6) 収納体制及び事務局体制について

(7) 今後のトイレなどの利用施設の維持管理のあり方等について

(8) 山岳部の安心安全のために必要な施設のあり方や活動内容の検討について

(9) 周知方法について

(10) その他

※ 屋久島町入島税等検討会議で決定された入山協力金の基本的な考え  
(平成 27 年 3 月 26 日 第 6 回屋久島町入島税等検討会議決定)

## 1 目的と用途

屋久島の山岳信仰の対象であり、世界自然遺産に登録されている奥岳の環境保全のため、トイレや登山道等の利用施設を維持管理するとともに、新たに、利用者の安心安全な自然体験の提供と普遍的価値を損なわない利用マナーの啓発に取り組むため「入山協力金」を導入する。

## 2 金額

基本額を 1,000 円～1,500 円とし、山中に宿泊を予定している者からは 2,000 円を求める。また、任意の金額も受け入れる。

## 3 名称

屋久島世界自然遺産地域入山協力金

## 4 対象者

山岳信仰の対象であり、屋久島の世界遺産地域に登録されている奥岳地域に入山しようとする者及びこの制度に賛同する者を対象とする。

## 5 収納方法

- ① 屋久島山岳部保全募金は、入山協力金に移行し、屋久島山岳部車両運行対策協議会で収納している縄文杉荒川線利用チケットとの収納の一元化を行う。
- ② 淀川登山口からの入山は、淀川登山口に業務員を配置して収納する。
- ③ 荒川登山口からの入山は、屋久島山岳部車両運行対策協議会で運営している登山バス料金に付帯し収納する。
- ④ 白谷雲水峡からの入山は、白谷雲水峡管理棟に業務員を配置して収納する。収納事務の一部は、屋久島レクリエーションの森保護管理協議会に協力を求める。
- ⑤ その他の方法の納入も収納する。

## 6 その他

- ① 入山協力金を収納する根拠として屋久島町条例を制定する。
- ② 導入時期は平成 28 年度とする。
- ③ 公平でより効率的に事業を実施するため、入山協力金の収納体制、今後のトイレなどの利用施設の維持管理のあり方等の検討は、屋久島山岳部利用対策協議会に依頼する。
- ④ 安心安全のための施設のあり方や活動内容の検討は、屋久島山岳部利用対策協議会に依頼する。
- ⑤ 入島税の将来的な導入を視野に入れた研究を引き続き行う。

平成 27 年 7 月 22 日

屋久島山岳部利用対策協議会  
会長 荒木 耕治 様

屋久島町長 荒木 耕治



新たな入山協力金制度に係る「名称」の検討について（依頼）

時下 ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

また、過日依頼した新たな入山協力金制度の導入に向けた検討について、鋭意ご検討を賜り感謝を申し上げます。

標記のことについて、(公社)屋久島観光協会からの屋久島町入山税等検討会議で決定した方針の変更要望や屋久島山岳部利用対策協議会実務担当者会議の検討状況を踏まえ、新たな入山協力金制度の効果的な事業推進のためには、収納対象者の範囲の拡大が必要と考えられます。

つきましては、山岳部への入山者だけでなく、屋久島に関係する多くの方々に理解と協力が得られるよう名称についてもご検討いただきますようお願いいたします。

記

1 検討を要する事項

名称（屋久島世界自然遺産地域等入山協力金）

2 検討を要する理由

- ① 協力金を求める対象者は、「山岳信仰の対象であり、屋久島の世界遺産地域に登録されている奥岳地域に入山しようとする者及びこの制度に賛同する者を対象とする。」と、入山者だけでなく、多くの個人・団体を対象にしている。
- ② 屋久島町入山税等検討会議で決定した名称は、入山者だけに対象を限定していると誤解される可能性があるため。

【本件担当】

屋久島町環境政策課自然環境係 木原

TEL : 0997-42-0100 (内線 285)

FAX : 0997-42-1505

## 第6回屋久島町入島税等検討会議資料（平成27年3月26日開催）

### （1）屋久島町入島税等検討会議での検討のまとめについて

#### ○ これまでの経緯

屋久島町入島税等検討会議は、屋久島における環境の保護保全のために必要な事業を継続的に実施するための財源として、入島税等の利用者負担を求めるしくみを検討した。

平成25年11月15日に開催した第1回会議から第3回会議では、入島税の導入について検討したが、公平・中立・簡素などの税の公平原則によって、課税対象、金額等に制約が生じ、また、屋久島で導入した場合、賦課徴収のための経費が大きくなることから、現時点での導入は難しい考えが共有された。

第4回から第5回会議において、入山時に費用負担を求める仕組みを検討し、将来的に入島税の導入を想定しつつ、山岳部の利用に対し受益者負担を求める仕組みとして「入山協力金」の採用が確認された。

#### ○ 屋久島町としての基本的な考え方

屋久島町入島税等検討会議における検討を踏まえ、屋久島町としての基本的な考え方を次のとおりとした。

#### 1 目的と用途

屋久島の山岳信仰の対象であり、世界自然遺産に登録されている奥岳の環境保全のため、トイレや登山道等の利用施設を維持管理するとともに、新たに、利用者の安心安全な自然体験の提供と普遍的価値を損なわない利用マナーの啓発に取り組むため「入山協力金」を導入する。

- ① 山岳トイレの維持管理経費
- ② 携帯トイレブースの維持管理
- ③ 登山道（トロッコ道も含む）の点検及び軽微な補修費
- ④ 山岳地域の安心安全のための施設の運営やパトロールなどの諸活動に係る経費
- ⑤ 山岳信仰の対象である奥岳の普遍的な価値を損なわないマナーや利用ルールの啓発にかかる経費

- ⑥ 入山協力金の会計事務及び事業に係る労務管理を行う事務局の運営に必要な経費
- ⑦ その他山岳部の自然環境を良好に保全する経費

【参考資料 1, 2】

## 2 金額

基本額を1,000円～1,500円とし、山中に宿泊を予定している者からは2,000円を求める。また、任意の金額も受け入れる。

- (1) 金額は必要経費から算出するため、屋久島山岳部利用対策協議会で屋久島山岳部車両運行対策協議会との事務調整のうえ、決定することを依頼する。
- (2) 山中に宿泊する利用者は、山岳トイレの利用が多く、収納のコストもかかることから、応分の負担を求める。
- (3) 協力金であることから、基本額と異なる金額も受け入れる。

【参考資料 2～7】

## 3 名称

「屋久島世界自然遺産地域入山協力金」

屋久島の世界自然遺産地域及び当該地域に至る山岳トイレや登山道等の利用施設の維持管理と入域する者の安全安心への取り組みに活用する協力金であることが明確となる名称とする。

## 4 対象者

山岳信仰の対象であり、屋久島の世界遺産地域に登録されている奥岳地域に入山しようとする者及びこの制度に賛同する者を対象とする。

- (1) 様々な場所から山岳地域に入山でき、すべての入山者を対象にした収納が現実的に困難であるため、当面は、荒川登山口、淀川登山口及び白谷雲水峡からの入山者を対象とする。
- (2) 山岳部への入山の事実を対象にするだけでなく、この制度に賛同する個人や団体者も対象とする。
- (3) 屋久島町に住所を有する者も対象とする。(ただし、維持管理等で入山する場合を除く。)
- (4) 年齢を問わず対象とする。(ただし、幼児・児童を除く。)

【参考資料 3】

## 5 収納方法

- ① 屋久島山岳部保全募金は、入山協力金に移行し、屋久島山岳部車両運行対策協議会で収納している縄文杉荒川線利用チケットとの収納の一元化を行う。
- ② 淀川登山口からの入山は、淀川登山口に業務員を配置して収納する。
- ③ 荒川登山口からの入山は、屋久島山岳部車両運行対策協議会で運営している登山バス料金に付帯し収納する。
- ④ 白谷雲水峡からの入山は、白谷雲水峡管理棟に業務員を配置して収納する。収納事務の一部は、屋久島レクリエーションの森保護管理協議会に協力を求める。
- ⑤ その他の方法の納入も収納する。

- (1) 屋久島山岳部利用対策協議会に対し、屋久島山岳部保全募金を入山協力金に移行することを依頼する。
- (2) 入山者の確実な収納と事前収納による現地収納の人件費を削減するため、屋久島山岳部車両運行対策協議会に、縄文杉荒川線利用チケットと入山協力金の収納の一元化を依頼する。
- (3) 淀川登山口から入山する者の収納は、淀川登山口に業務員を配置して収納する。なお、収納方法や情報発信等を行う施設のあり方や設置などについては、屋久島山岳部利用対策協議会に検討を依頼する。
- (4) 荒川登山口から入山する者の収納は、屋久島山岳部車両運行対策協議会に登山バ

ス料金に付帯し収納することを依頼する。

- (5) 白谷雲水峡から入山する者の収納は、屋久島レクリエーションの森保護管理協議会の協力を得て収納する。(白谷雲水峡の開園時間帯に、奥岳に入山しようとする者に入山協力金の収納を依頼する。) なお、屋久島レクリエーションの森保護管理協議会で収納している森林整備推進協力金は、自然休養林の入林者を対象としていることから、奥岳への入山を対象としている入山協力金との一元化は行わない。
- (6) その他の納入方法として、協力金箱への納入、屋久島町への振り込みのほか郵便振替が考えられる。

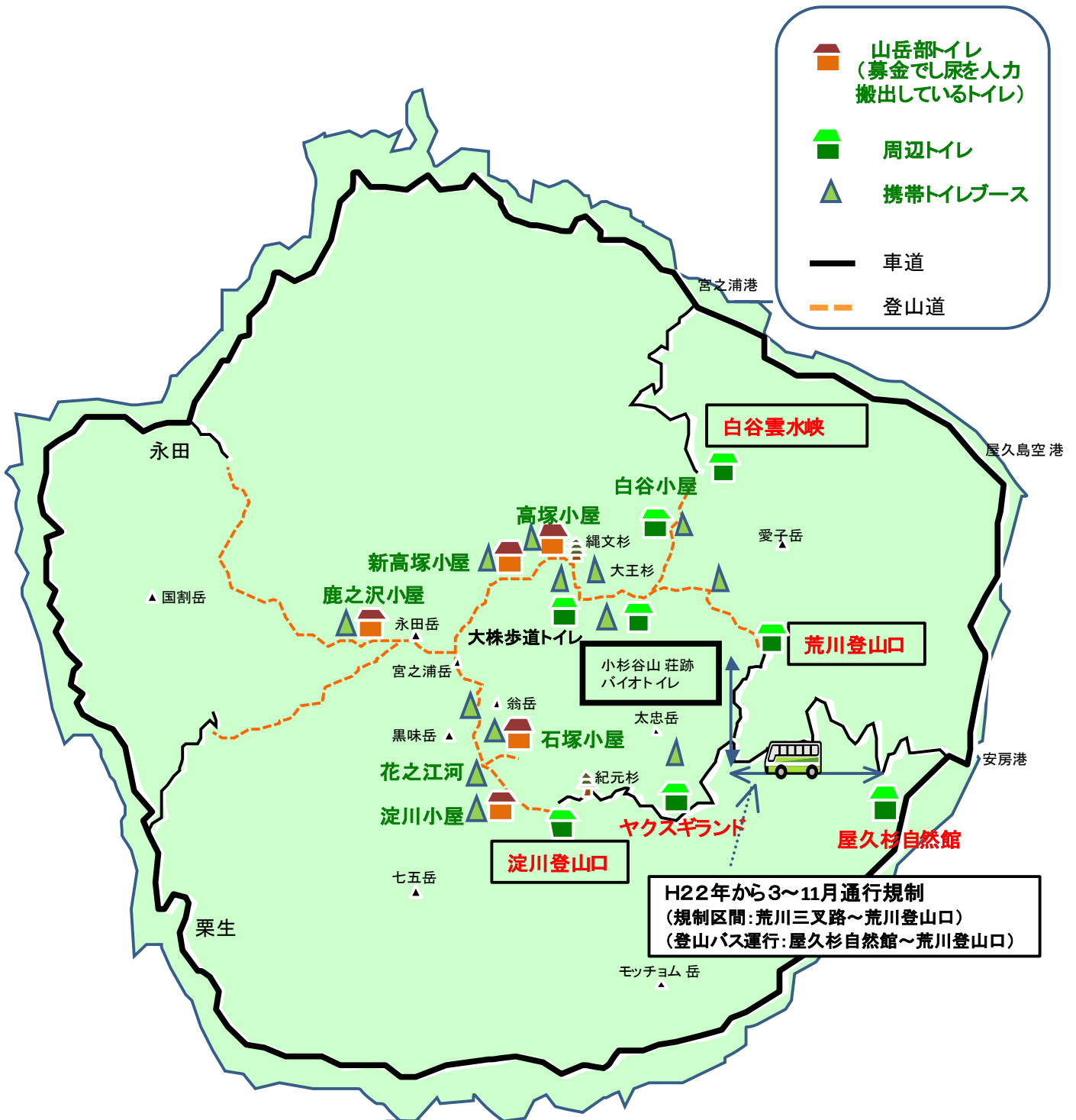
【参考資料 4】

## 6 その他

- ① 入山協力金を収納する根拠として屋久島町条例を制定する。
- ② 導入時期は平成 28 年度とする。
- ③ 公平でより効率的に事業を実施するため、入山協力金の収納体制、今後のトイレなどの利用施設の維持管理のあり方等の検討は、屋久島山岳部利用対策協議会に依頼する。
- ④ 安心安全のための施設のあり方や活動内容の検討は、屋久島山岳部利用対策協議会に依頼する。
- ⑤ 入島税の将来的な導入を視野に入れた研究を引き続き行う。

- (1) 入山協力金を収納する根拠として、屋久島町条例を定める。
- (2) 入山協力金の導入は平成 28 年度とする。平成 27 年度は未決定部分の協議と制度の周知を行う。
- (3) 入山協力金の会計事務、事業に係る労務管理等の詳細方法、必要な施設の整備の検討を屋久島山岳部利用対策協議会に依頼する。
- (4) 人肩によるし尿の運搬やトロッコに依存したトイレの維持管理は、費用面や作業内容からも負担が大きいことから、将来の維持管理の検討を屋久島山岳部利用対策協議会に依頼する。
- (5) 入山協力金の効果等を検証し、入島税の将来的な導入を視野に入れた研究を引き続き行う。

## 屋久島山岳部トイレ位置図





## 金額の算出基礎について

参考資料 2

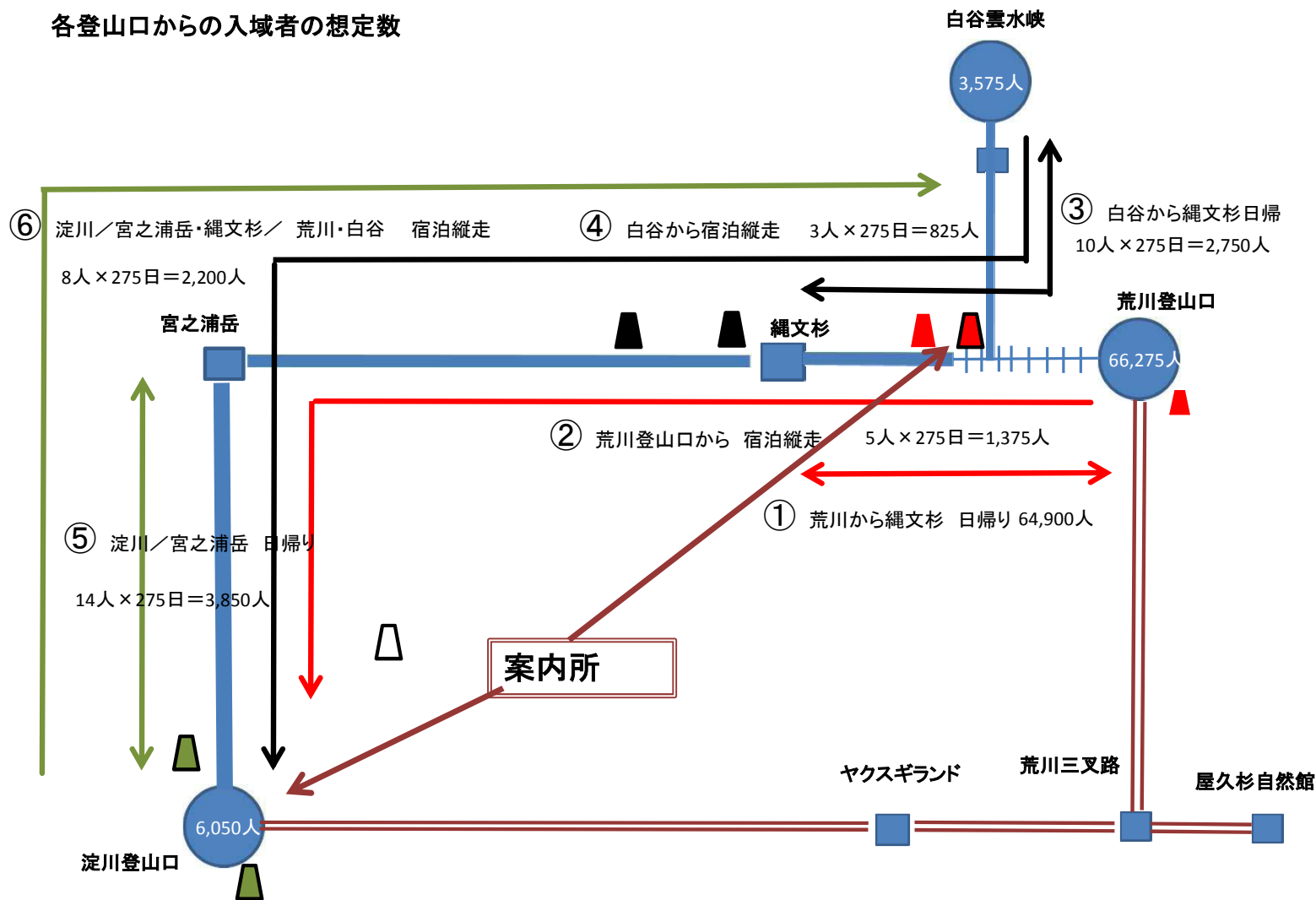
94,670千円 / 68,310人 (75,900人 × 0.9) = 1,386円

66,105千円 / 68,310人 (75,900人 × 0.9) = 968円 ※車両除く

(単位：千円)

入山協力金事業の必要経費 1~6の合計 (車両と一元化した場合)	94,670
入山協力金事業の必要経費 2の車両分を除く	66,105
<b>1 屋久島山岳部保全募金で実施している経費</b>	<b>22,850</b>
① 汲み取り式トイレのし尿搬出 (10,500L)	20,000
② バイオトイレの維持管理 (三代杉)	800
③ 携帯トイレブース・新高トイレの維持管理 (宮之浦岳縄文杉線)	850
④ 淀川登山口トイレの維持管理	1,200
⑤ 荒川登山口業務員の人件費 (2名)	0
<b>2 屋久島山岳部車両運行対策協議会が実施している経費</b>	<b>28,565</b>
① 人件費 (職員1名、現地6名)	12,850
② トイレ維持管理 (自然館駐車場・荒川登山口)	510
③ チケット販売手数料 (乗車券分除く)	1,620
③ 警備委託料等	5,300
④ 荒川線路面補修	1,800
⑤ その他	6,485
<b>3 収納にかかる経費</b>	<b>11,995</b>
① 荒川口 事前収納 (チケット付帯分) 手数料 67,000人 × 1,000円 × 6%	4,020
② 荒川口での収納に係る分 (当日収納) ※車両運行対策協議会から支出する人件費と重複 約10,560千円 (相当額)	0
③ 白谷雲水峡での収納に係る分	3,300
② 淀川登山口での収納に係る分 (現地2名 7時間)	4,675
<b>4 安心安全にかかる経費</b>	<b>19,260</b>
① 安全啓発等を行う施設の運営費	10,890
② 安全パトロールの活動経費	8,370
<b>5 登山道 (トロッコ道含む) 維持管理にかかる経費</b>	<b>5,000</b>
① 軽微な補修費	5,000
<b>6 会計管理及び労務管理を行う事務局経費等</b>	<b>7,000</b>
① 職員2名の他、事務費用 ※ 車両業務と一部重複	7,000

# 各登山口からの入域者の想定数



区分		予想利用者
① 赤 矢印 日帰	荒川→縄文杉→荒川・白谷 236人×275日=64,900人	66,275人 荒川登山口利用者数
② 赤 矢印 宿泊	荒川→縄文杉→宮之浦岳→淀川・永田 5人×275日=1,375人	
③ 黒 矢印 日帰	白谷→縄文杉→白谷・荒川 10人×275日=2,750人	3,575人 白谷雲水峽利用者数
④ 黒 矢印 宿泊	白谷→縄文杉→宮之浦岳→淀川・永田 3人×275日=825人	
⑤ 緑 矢印 日帰	淀川→宮之浦岳・黒味岳→淀川 14人×275日=3,850人	6,050人 淀川登山口利用者数
⑥ 緑 矢印 宿泊	淀川→宮之浦岳→縄文杉→荒川・白谷 8人×275日=2,200人	
計		75,900人

10

### 入山協力金の収納に係る経費の試算

ルート別	荒川ルート		白谷ルート	淀川ルート			
区分	バスチケット付帯と現地収納		現地収納	現地収納			
	事前収納		当日収納	当日収納			
収納場所	バスチケットに付帯し、事前収納		白谷雲水峡	淀川登山口			
時間帯作業内容	3						
	4	車両運行対策協議会業務 (町道 荒川線の車輛規制)	(参考) 車輛で配置している人員 3時間×2人	【収納業務】 4時間×2人	【収納業務】 3時間×2人		
	5						
	6						
	7		(参考) 車輛で配置している人員 9時間×1人	レクリエーションの森保護管理業務	【収納業務】 4時間×2人		
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13		(参考) 2時間×1人		※ タクシー・バス会社の協力によって軽減		
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	一日あたり人件費 時間×人数×単価	早朝作業 1,500円	1,500円×3時間×2名 1,500円×1時間×1名	0円	10,500円	12,000円	9,000円
		通常作業 1,000円		0円	18,000円	0円	8,000円
夜間作業 1,200円			0円	2,400円	0円	0円	
小計	チケット販売手数料 67,000人×1,000円×6%	0円	30,900円	12,000円	17,000円		
年間経費小計 (一日あたり人件費×275日)	4,020,000円	車輛協議会の人件費 8,497,500円		3,300,000円	4,675,000円		
年間経費合計	11,995,000円						

### 安全啓発等を行う施設の運営経費

ルート別		荒川ルート	白谷ルート	淀川ルート
区分	案内所での登山情報・安全啓発、救急活動の支援、携帯トイレの携行呼びかけ（275日間）			
場所	小杉谷地区		淀川登山口	
時間 帯 作 業 内 容	3			
	4			
	5			【安全啓発】
	6			4時間×1人
	7	【安全啓発等】 1時間×2人		
	8	【安全啓発等】 9時間×2人		【安全啓発】
	9			
	10			
	11			
	12			
	13	【安全啓発等】 9時間×2人		9時間×1人
	14			
	15			
	16			
	17	【安全啓発等】 1時間×2人		【安全啓発】 1時間×1人
18				
19				
20				
21				
一日あたり人件費 時間×人数×単価	早朝作業 1,500円	3,000円		6,000円
	通常作業 1,000円	18,000円		9,000円
	夜間作業 1,200円	2,400円		1,200円
小計	23,400円		16,200円	
年間経費小計 一日あたり人件費 ×275日	6,435,000円		4,455,000円	
年間経費合計	10,890,000円			

### 安全パトロールの活動経費

淀川～新高・高塚～荒川・白谷	
危険箇所点検、トイレ等の清掃補修、利用ルールの啓発、救急活動の支援（150日間）	
	【パトロール】
	4時～8時 4時間×2人
	【パトロール】
	8時～15時 7時間×2人
	【パトロール】
	9時～17時 8時間×2人
	【パトロール】
	17時～21時 4時間×2人
	0円
	12,000円
	16,000円
	14,000円
	9,600円
	0円
	51,600円
	日額旅費×2人 4,200円
	1回業務あたり単価×150日 8,370,000円

## し尿搬出経費から予測した負担額

区 分		高塚		新高塚		淀川		鹿之沢		石塚	
		25年度	24年度	25年度	24年度	25年度	24年度	25年度	24年度	25年度	24年度
搬出量(ℓ)	①	2,180	3,320	1,980	1,220	4,600	6,320	1,020	1,280	480	520
(参考)搬出単価(20Lタンクあたり)		31,000	34,000	47,000	50,000	18,000	20,000	48,000	52,000	47,000	50,000
汲み取り料金・運搬料小計(円)	②	3,400,787	5,677,513	4,672,901	3,062,182	4,185,618	6,382,673	2,461,685	3,343,073	1,140,495	1,312,495
1回利用あたりのし尿目安(ℓ)	③	0.30									
利用回数(回)	④=①÷③	7,267	11,067	6,600	4,067	15,333	21,067	3,400	4,267	1,600	1,733
1回利用あたりの汲み取り料金・運搬料(円)	⑤=②÷④	468	513	708	753	273	303	724	784	713	757

## 利用形態別費用

1回利用者(日帰り)	⑤×1回	468	513	708	753	273	303	724	784	713	757
2回利用者(宿泊者・日帰り)	⑤×2回	936	1,026	1,416	1,506	546	606	1,448	1,567	1,426	1,514
3回利用者(宿泊者)	⑤×3回	1,404	1,539	2,124	2,259	819	909	2,172	2,351	2,138	2,272

※ し尿搬出実績額を、1回のトイレ使用量(1回0.3L)で割り出した金額。山小屋利用者は2回～3回の利用が予想される。

# 各金額設定ごとの収支の試算

参考資料 7

## ① どの登山口からも日帰り客に1,000円、山中泊客に2,000円を収納する場合（登山バス協力金を含めて）

入山場所	目的	内訳		収納金額	登山者数	入山協力金 収納額見込み 90%	収納業務 人件費	内訳			収納場所	入山協力金で 活用できる金額 90%
		入山協力金	登山バス協力金					勤務時間 (勤務時間帯)	勤務 日数	配置 人員		
屋久杉自然館	縄文杉(日帰り)	640円	360円	1,000円	64,900人	37,382千円	4,020千円	0時間	275日		自然館	33,362千円
白谷雲水峡		1,000円	0円	1,000円	2,750人	2,475千円	3,300千円	4時間(4時~8時)	275日	2人	白谷	△825千円
屋久杉自然館 荒川三叉路	山中泊客	1,640円	360円	2,000円	1,375人	2,030千円	0千円	0時間(8時~18時)	275日	3人	荒川三 叉路	2,030千円
白谷雲水峡		2,000円	0円	2,000円	825人	1,485千円	0千円	0時間(8時~15時)	275日	2人	白谷小 屋	1,485千円
淀川登山口	宮之浦岳等(日帰)	1,000円	0円	1,000円	3,850人	3,465千円	2,475千円	4時間(4時~8時)	275日	2人	淀川	990千円
淀川登山口	山中泊客	2,000円	0円	2,000円	2,200人	3,960千円	2,200千円	6時間(10時~16時)	275日	2人	淀川	1,760千円
合計		8,280円	720円	9,000円	75,900人	50,797千円	11,995千円	4時~8時:1,500円, 17時~18時:1,200円 8時~17時:1,000円				38,802千円

トイレの維持管理 22,850千円、安心安全の経費 19,260千円、登山道補修 5,000千円、事務局経費 7,000千円 小計 54,110千円

参考資料2の経費を差し引いた金額

△15,308千円

## ② 日帰り客に1,000円、山中泊客に2,000円を徴収する場合（登山バス協力金を含めない）

入山場所	目的	内訳		収納金額	登山者数	入山協力金 収納額見込み 90%	収納業務 人件費	内訳			収納場所	入山協力金で 活用できる金額 90%
		入山協力金	登山バス協力金					勤務時間 (勤務時間帯)	勤務 日数	配置 人員		
屋久杉自然館	縄文杉(日帰り)	1,000円	360円	1,360円	64,900人	58,410千円	4,020千円	0時間	275日		自然館	54,390千円
白谷雲水峡		1,000円	0円	1,000円	2,750人	2,475千円	3,300千円	4時間(4時~8時)	275日	2人	白谷	△825千円
屋久杉自然館 荒川三叉路	山中泊客	2,000円	360円	2,360円	1,375人	2,475千円	0千円	0時間(8時~18時)	275日	3人	荒川三 叉路	2,475千円
白谷雲水峡		2,000円	0円	2,000円	825人	1,485千円	0千円	0時間(8時~15時)	275日	2人	白谷小 屋	1,485千円
淀川登山口	宮之浦岳等(日帰)	1,000円	0円	1,000円	3,850人	3,465千円	2,475千円	4時間(4時~8時)	275日	2人	淀川	990千円
淀川登山口	山中泊客	2,000円	0円	2,000円	2,200人	3,960千円	2,200千円	6時間(10時~16時)	275日	2人	淀川	1,760千円
合計		9,000円	720円	9,720円	75,900人	72,270千円	11,995千円	4時~8時:1,500円, 17時~18時:1,200円 8時~17時:1,000円				60,275千円

トイレの維持管理 22,850千円、安心安全の経費 19,260千円、登山道補修 5,000千円、事務局経費 7,000千円 小計 54,110千円

参考資料2の経費を差し引いた金額

6,165千円

## ③ どの登山口からも1,500円を収納する場合（登山バス協力金を含めて）

入山場所	目的	内訳		収納金額	登山者数	入山協力金 収納額見込み 90%	収納業務 人件費	内訳			収納場所	入山協力金で 活用できる金額 90%
		入山協力金	登山バス協力金					勤務時間 (勤務時間帯)	勤務 日数	配置 人員		
屋久杉自然館	縄文杉(日帰り)	1,140円	360円	1,500円	64,900人	66,587千円	4,020千円	0時間	275日		自然館	62,567千円
白谷雲水峡		1,500円	0円	1,500円	2,750人	3,713千円	3,300千円	4時間(4時~8時)	275日	2人	白谷	413千円
屋久杉自然館 荒川三叉路	山中泊客	1,140円	360円	1,500円	1,375人	1,411千円	0千円	0時間(8時~18時)	275日	3人	荒川三 叉路	1,411千円
白谷雲水峡		1,500円	0円	1,500円	825人	1,114千円	0千円	0時間(8時~15時)	275日	2人	白谷小 屋	1,114千円
淀川登山口	宮之浦岳等(日帰)	1,500円	0円	1,500円	3,850人	5,198千円	2,475千円	4時間(4時~8時)	275日	2人	淀川	2,723千円
淀川登山口	山中泊客	1,500円	0円	1,500円	2,200人	2,970千円	2,200千円	6時間(10時~16時)	275日	2人	淀川	770千円
合計		8,280円	720円	9,000円	75,900人	80,992千円	11,995千円	4時~8時:1,500円, 17時~18時:1,200円 8時~17時:1,000円				68,997千円

トイレの維持管理 22,850千円、安心安全の経費 19,260千円、登山道補修 5,000千円、事務局経費 7,000千円 小計 54,110千円

参考資料2の経費を差し引いた金額

14,887千円

④ どの登山口からも日帰り客に1,500円、山中泊客に2,000円を収納する場合(登山バス協力金と含めて)

入山場所	目的	内訳		収納金額	登山者数	入山協力金 収納額見込み	収納業務 人件費	内訳			収納場所	入山協力金で 活用できる金額
		入山協力金	登山バス協力金			90%		勤務時間 (勤務時間帯)	勤務 日数	配置 人員		90%
屋久杉自然館	縄文杉(日帰り)	1,140円	360円	1,500円	64,900人	66,587千円	4,020千円	0時間	275日		自然館	62,567千円
白谷雲水峡		1,500円	0円	1,500円	2,750人	3,713千円	3,300千円	4時間(4時~8時)	275日	2人	白谷	413千円
屋久杉自然館 荒川三叉路	山中泊客	1,640円	360円	2,000円	1,375人	2,030千円	0千円	0時間(8時~18時)	275日	3人	荒川三 叉路	2,030千円
白谷雲水峡		2,000円	0円	2,000円	825人	1,485千円	0千円	0時間(8時~15時)	275日	2人	白谷小 屋	1,485千円
淀川登山口	宮之浦岳等(日帰)	1,500円	0円	1,500円	3,850人	5,198千円	2,475千円	4時間(4時~8時)	275日	2人	淀川	2,723千円
淀川登山口	山中泊客	2,000円	0円	2,000円	2,200人	3,960千円	2,200千円	6時間(10時~16時)	275日	2人	淀川	1,760千円
合計		9,780円	720円	10,500円	75,900人	<b>82,972千円</b>	<b>11,995千円</b>	4時~8時:1,500円, 17時~18時:1,200円 8時~17時:1,000円				<b>70,977千円</b>

トイレの維持管理 22,850千円、安心安全の経費 19,260千円、登山道補修 5,000千円、事務局経費 7,000千円 小計 54,110千円

参考資料2の経費を差し引いた金額

16,867千円

⑤ 日帰り客に1,500円、山中泊客に2,000円を徴収する場合(登山バス協力金を含めない)

入山場所	目的	内訳		収納金額	登山者数	入山協力金 収納額見込み	収納業務 人件費	内訳			収納場所	入山協力金で 活用できる金額
		入山協力金	登山バス協力金			90%		勤務時間 (勤務時間帯)	勤務 日数	配置 人員		90%
屋久杉自然館	縄文杉(日帰り)	1,500円	360円	1,860円	64,900人	87,615千円	4,020千円	0時間	275日		自然館	83,595千円
白谷雲水峡		1,500円	0円	1,500円	2,750人	3,713千円	3,300千円	4時間(4時~8時)	275日	2人	白谷	413千円
屋久杉自然館 荒川三叉路	山中泊客	2,000円	360円	2,360円	1,375人	2,475千円	0千円	0時間(8時~18時)	275日	3人	荒川三 叉路	2,475千円
白谷雲水峡	山中泊客	2,000円	0円	2,000円	825人	1,485千円	0千円	0時間(8時~15時)	275日	2人	白谷小 屋	1,485千円
淀川登山口	宮之浦岳等(日帰)	1,500円	0円	1,500円	3,850人	5,198千円	2,475千円	4時間(4時~8時)	275日	2人	淀川	2,723千円
淀川登山口	山中泊客	2,000円	0円	2,000円	2,200人	3,960千円	2,200千円	6時間(10時~16時)	275日	2人	淀川	1,760千円
合計		10,500円	720円	11,220円	75,900人	<b>104,445千円</b>	<b>11,995千円</b>	4時~8時:1,500円, 17時~18時:1,200円 8時~17時:1,000円				<b>92,450千円</b>

トイレの維持管理 22,850千円、安心安全の経費 19,260千円、登山道補修 5,000千円、事務局経費 7,000千円 小計 54,110千円

参考資料2の経費を差し引いた金額

38,340千円

平成 27 年 4 月 7 日

屋久島山岳部車輛運行対策協議会  
会長 荒木 耕治 様

屋久島町長 荒木 耕治

新たな入山協力金制度の導入にあたっての縄文杉荒川線利用チケットとの  
一元化について（依頼）

時下 ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、3月26日に開催された第6回屋久島町入島税等検討会議では、新たな入山協力金  
についての基本的な考え方を決定し、併せて、入山協力金の導入に向けた具体的な内容検  
討及び関係者との調整については、貴協議会及び山岳部利用対策協議会に依頼すること  
を決定したところです。

については、事情をご理解いただき、早期の入山協力金の導入に向け、下記の点について  
貴協議会で御検討いただきますようお願いいたします。

#### 記

##### ○ 基本的な考え方

屋久杉自然館前駐車場と荒川登山口を結ぶ登山バス乗車券に縄文杉荒川線利用チケッ  
トと入山協力金の合算額を付帯し収納する。

なお、日帰り客の入山協力金は1,000円（山中で宿泊を予定している者は2,000円）、  
縄文杉荒川線利用チケットと一元化した場合は1,500円とする。

##### ○ 検討内容

(1) 縄文杉荒川線利用チケットと新たな入山協力金の収納の一元化について

- ① 入山協力金を登山バス乗車券に付帯して収納することは可能か？
- ② 縄文杉荒川線利用チケットと入山協力金を一元化し、入山協力金として収納する  
ことは可能か？その場合、チケットの代金と入山協力金の分配事務が可能か？
- ③ 貴協議会で運用している事前販売の体制が活用できるか？また、取扱手数料をど  
のようにするか。
- ④ 現地（当日）の収納は、貴協議会職員が業務と併せて収納ができるか？



⑤ 入山協力金として一元化した場合、金額を 1,500 円を上限にしているが、収納、事務局体制等を踏まえいくらが適切か。

(2) 会計事務の一元化について

屋久島山岳部利用対策協議会で管理している縄文杉荒川線利用チケット等の余剰金を入山協力金事業に活用できるか？

(3) 組織の一元化について

貴協議会と入山協力金を収納することとなる組織（例えば山岳部利用対策協議会）との一元化が可能か。

**【本件担当】**

屋久島町環境政策課自然環境係 木原

TEL :0997-42-0100 (内線 285)

FAX :0997-42-1505

平成27年4月27日

屋久島山岳部利用対策協議会

会長 荒木耕治 様

屋久島レクリエーションの森

保護管理協議会

会長 荒木耕治



新たな入山協力金制度の導入に当たっての森林環境整備推進協力金との一元化等の検討について（回答）

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

先般開催したレク森協議会臨時総会では、小村課長様、廻主幹様のご出席を賜り誠にありがとうございました。

尚、貴協議会より依頼のありました標記一元化の検討については、本協議会の臨時総会で検討した結果、下記のとおり決定したので回答します。

#### 記

#### 1 収納事務の一元化について

回答；レク森森林環境整備推進協力金と山岳部保全募金（入山協力金）については、次の理由により一元化はできない。

① 受益者、用途、整備水準の違い

② 森林環境整備推進協力金の用途の制約と現実的でないレク森協議会の総意

森林環境整備推進協力金は、レク森の森林環境整備に充てるとの制約があるなかで、一元化してレク森以外の場所への用途を振り分けることになるとこれまでの仕組みを変えることになり、レク森協議会の総意を得て決定する必要があるため現実的でない。

③ 森林環境整備推進協力金を充てて行う事業による受益の関係が、利用者の視点からみて妥当性がない

一元化することはレク森森林環境整備推進協力金に奥地山岳部の分を加算することになり、レク森利用者がそれを含めた協力金を払うことについて、利用者は不合理と考えると思われる。

よって利用者の視点から見て妥当性のあるものとは言えない。

2 1が不可能であるため無回答

3 1が不可能であるため無回答

#### 4 収納事務への協力について

回答；レク森協議会の白谷管理棟に於いて、貴協議会職員が早朝入山協力金を収受すること及びレク森職員が業務時間内に入山協力金の納入を呼びかけることは可能である。

平成27年4月6日

屋久島レクリエーションの森保護管理協議会  
会長 荒木 耕治 様

屋久島山岳部利用対策協議会  
会長 荒木 耕治

新たな入山協力金制度の導入に当たっての森林環境整備推進協力金との一元化等の検討について（依頼）

時下 ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、3月26日に開催された第6回屋久島町入島税等検討会議において、屋久島町における新たな入山協力金についての基本的な考え方が決定され、入山協力金の導入に向けた検討と制度設計については、山岳部利用対策協議会に依頼されたところです。

その後開催した平成26年度第4回屋久島山岳部利用対策協議会において、屋久島観光協会ガイド部会から、新たな入山協力金の導入に当たり、貴協議会の森林整備推進協力金との一元化ができないかどうか、貴協議会に検討を依頼してほしいという意見が出されました。

については、下記の点について貴協議会で御検討いただき、御回答くださるようお願いいたします。

#### 記

- 1 収納事務の一元化について  
例えば、入山協力金の中に森林環境整備推進協力金を含めて収納することは可能か。  
（合算して収納し、森林環境整備推進協力金とそれ以外の分を改めて分配する方式。）
- 2 会計の一元化について（上記1が可能な場合）  
例えば、会計までも一元化し、森林環境整備推進協力金の余剰金を入山協力金として活用することは可能か。
- 3 組織の一元化について（上記1と2が可能な場合）  
例えば、収納事務及び会計だけでなく、入山協力金を収納することとなる組織と貴協議会との組織（事務局も含む）の一元化は可能か。
- 4 収納事務への協力について（上記1から3までが不可能な場合）  
例えば、貴協議会の管理事務所において、入山協力金を収納する組織が雇用する職員が早朝（4時～8時）に入山協力金を収受することは可能か。  
また、貴協議会の管理事務所において、貴協議会の職員が業務時間内に、入山協力金の納入を呼びかけていただくことは可能か。

【問い合わせ先】  
（事務局）  
鹿児島県熊毛支庁屋久島事務所  
総務企画課 廻  
TEL :0997-46-2211  
FAX :0997-26-2493